

2016年度 第6回 OLC 藤倉記念チャリティーカップ記念競技会 開催のご案内

公益社団法人日本グライダークラブ
OLC 藤倉記念チャリティーカップ競技会 事務局（丸山・早乙女）

各地でご活躍のグライダーパイロットの方々に競技会開催のお誘いです。

日本グライダークラブはこの4年間、OLC（オンラインコンテスト）を利用しての競技会を開催してまいりました。今年度も引き続き開催を予定しております。競技会開催の主旨をご理解の上、奮ってご参加ください。なお、今回から、日本滑空協会の後援を得られることになりました！

実施要領：

名 称	第6回 OLC 藤倉記念チャリティーカップ記念競技会
主 催 者	公益社団法人 日本グライダークラブ
後 援	公益社団法人 日本滑空協会
競 技 期 間	2015年9月22日より2016年9月19日まで
参 加 資 格	滑空機操縦技能証明保持者
参 加 費	無料（但し、後述の OLC への寄付を推奨）
競 技 ルール 及び採点方法	OLC-Plus のルールにより得られた OLC のスコアをそのまま使用して当該フライトのポイントとする。国内でのフライトのみを競技の対象とします。OLC ルールで解決できない場合は主催者が判断し決定する。
表 彰	競技期間内のフライトの内、ベスト6フライトの合計ポイントの最高点を獲得したパイロット
申 込 期 間	OLC を利用し始めた時点で参加としますので、申込不要

競技会開催主旨：

例年、日本グライダークラブは藤倉記念チャリティーカップとしてグライダー競技会を開催してきました。その主旨は、日本選手権に出場する力のある選手のみならず、グライダー競技に参加することに興味のある選手にその楽しさ、素晴らしさを経験する機会を与え、滑空界の底上げを図ることを目的としたものであります。

また、この競技会を通して以下の効果を期待しています。

OLC の効果：

- 全国のソアリングに適切な時期および場所の確認ができる。
- 世界に日本のクロスカントリーフライトの可能性をアピールできる。（海外のパイロットと話していると、OLC にアップロードされている日本でのクロスカントリーフライトに興味をもたれていることを実感します）
- 目的を持った飛行を実施することで、野外滑翔技術の向上を図ることができる。
- 自分以外の選手の飛び方を検証することにより飛行の学習ができる。
- OLC 競技に参加し、フライトに真剣に取り組むことにより日本のグライダー愛好者の能力、技量向上に役立つことが期待される。

海外のグライダーを始めたパイロットもライセンス取得後に目標設定がうまくできず、グライダーを中断してしまうパイロットが多いそうです。ライセンスからクロスカントリーパイロットに移行するステップとして OLC が活用されているようです。日本からの OLC 利用者も年々増加しており、今年はずいぶん 109 名まで増えました。海外からも日本のフライトに注目が集まっており、2015/5 月の齋藤さんの 750km フライトはその日の世界のベストフライトと言うことでドイツの OLC 事務局からも記事執筆依頼を頂き、OLC ニュースに掲載いただきました。

このように、OLC の活用が進むことにより、国内フライトが活発になることは、事務局としてうれしい限りです。ですが、最近耳にした残念な話として、OLC のスコアを伸ばすために、安全高度を割るような高度まで無理にグライドを伸ばし、滑空場にギリギリで帰ってきたようなフライトが見受けられているようです。

グライダー競技は人と競うものではありません。相手は空であり、打ち勝つべき相手は自分自身です。人より良いフライトをしよう、といったようなよこしまな気持ちを持っていると、かならずそれは自分に跳ね返ってきます。「競技会」と名が付いてしまうと、

どうしてもこの大前提を忘れてしまう人が出てきてしまうようです。これは海外でも同じようで、ドイツでも、OLC のスコアを伸ばすために、無理に日没間際までフライトし、日没間際のアウトランディング時に機体を壊したケースを聞きました。人と競うことで大事なことを忘れてしまうことは人間の本質的な課題なのかもしれません。

十分に安全な範囲でのフライトを楽しんで頂くよう、よろしく申し上げます。

開催主旨をご理解いただき、全国の多数のグライダーパイロットの皆さまのご参加をお待ちしています。

OLC の使い方について

滑空協会ホームページに「オンラインコンテスト・ジャパン」のページを作成しました。滑空協会ホームページ右側の「OLC」ロゴをクリックすると下記ページにリンクしています。

<http://www.japan-soaring.org/information/olc/olc.htm>

OLC 参加パイロットのフライトが一覧で見られるようになりました。

また、本家 OLC ページのメニューも日本語メニューに対応しています。OLC の使い方について、ユーザー ID の作成から、アップロード、ルールの概要説明の日本語ガイドを上記ページにアップロードしています。

OLC とは

ドイツの非営利団体で運営されています。運営はボランティアベース、寄付をベースに成り立っています。

<http://www.fai.org/igc-our-sport/online-contest>

FAI でもプロモーションされている、デセントライズコンペ（非集中型競技会）です。世界中から約 15,000 人、116,000 フライトのログがアップされています。

OLC への寄付のお願い（スマイルマーク）

OLC を動かしているインターネット上のサーバーは当初はボランティアで始まりましたが、現在は商用サービスプロバイダーでサーバーをお借りしてサービスを動かしています。サーバーの運用の為に皆さんからの寄付を募集しています。寄付金額は年 12 ユーロから、24 ユーロいただけますと 2 年間有効になります。寄付頂けると寄付者がフライトをアップロードするとパイロット名の横にスマイルマークが表示されるようになります。（2015 年度から 10 ユーロから 12 ユーロに値上げさせていただきました）

日本からは 2015 年度の OLC 利用者 109 名中、26 名の方から寄付を頂いています。昨年より 28 名の OLC 利用者が増え、7 名の寄付者が増えました。寄付いただいた皆様、ありがとうございます。前述の通り、OLC 事務局からも日本の動向は注目されており、日本向けページ、日本語メニュー対応等のサポートお願いさせていただき、快く対応頂いております。今後の OLC の継続的、健全な発展のためにも是非多くの皆様からの寄付をお願いします！ OLC の健全運営に日本からも協力しましょう！（特に OLC を頻繁に利用している皆さん、是非、周りの皆さんの手本となるべく、率先して寄付へのご協力をお願いします！）

以下ページから寄付が可能です。クレジットカードをお持ちの方は左側の“become a Partner”のログをクリック、ないしは Paypal のアカウントをお持ちの方は右側の“OLC-Donation via Paypal”から寄付可能です。

<http://www.onlinecontest.org/olc-2.0/segelflugszene/cms.html?url=support>

英語メニューでやり方が難しい方には、寄付方法の日本語での解説も滑空協会内 OLC ページに掲載していますので、参照ください。